

市民公益活動事業補助金

(スタート・チャレンジ補助金)

平成29年度選考会



平成29年5月28日

平成29年度 狛江市市民公益活動事業補助金 応募団体(全6団体)

頁	分類	団体名	事業名	事業内容	申請額
1	スタート	ごほん+居場所 おかえり	子育て交流事業	<p>貧困、虐待、いじめなど、今の子ども達を取り巻く環境は非常に厳しいものである。不登校や非行など、深刻な子どもの問題行動や、発達障害に悩んでいる保護者も多い。それほど深刻でなくとも子育てには悩みが付きものである。私達は安価にて食事を提供し、今問題となっている孤食の解消を図り、地域交流の為にごほん会を行う。また専門家と交えて教育相談活動を行い、地域全体で子育てを考える機会を設ける為に、保護者のみならず、市内の子ども支援に携わる人や教育関係者などに対し、子育て学習会を開催する。</p>	50,000
2	スタート	ハンズ・ブレイス	ハンズ・カフェ	<p>長年の手話通訳、相談員と仕事の中で、聴覚障害の高齢者が施設入所してもコミュニケーションができません。また自宅で孤立し、寂しく亡くなっていく現状を知り、地域の中で見守っていく体制を作りたいとミニサイバーピスを開設した。この事業を関係者、一般の人たちに知ってもらい、合わせて聴覚障害者への合理的配慮とはどういうことかを考えていただければいい。また、聴覚障害者のためのハンズ・カフェを企画した。また、聴覚障害者の得意なこと、強みをアピールし、それを発揮できる場作りも試み、生涯にわたる居場所づくりを目的とする。</p>	50,000
3	スタート	ポッチャ・(ともしび)	障がい者スポーツ「ポッチャ」の普及	<p>東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツへの関心が高まっている。とりわけ障がい者スポーツの紹介はメディアで取り上げられることが多くなっている。(とくに「ポッチャ」はオリンピックピックで日本が銀メダルをとったことで知名度が上がった。)いつでもどこでも誰もが楽しめる「ポッチャ」を地域の交流に生かしたい。</p>	50,000
4	チャレンジ 新規	エネルギー・プロジェクトをまえるの会 (略称・エネこま)	多摩川での小水力発電事業の可能性を探る事業	<p>「水と緑のまち・狛江」として、多摩川を活用して再生エネルギーを創出することの可能性を市民に広く問いかけ、また専門家を交えてその実現性を市民間で探究する活動。具体的には、世界の再生エネルギー現状を伝えるドキュメンタリー映画を上映して再生エネルギーの必要性を知り、小水力発電の普及活動を行う社会法人の専門家を招いた学習会を行う。以上を下地として市民意見を広く集め、多摩川の再生エネルギーに関する意識を育てる効果を目指す。</p>	140,000
5	チャレンジ 新規	狛江視覚障害者の会	暗闇レストランへようこそ!	<p>暗闇での生活を暗闇レストランでの体験を通して、より視覚障がい者を理解してもらい、障害者に対して親近感を持ってもらう。 ①障害者を単に可哀そうな存在としてでなく、暗闇での素晴らしい世界も紹介する。 ②障害者の存在を、義務感や理性でとらえるのではなく、参加者の身体で実感してもらう。</p>	200,000
6	チャレンジ 継続	狛江市邦楽連盟	少年少女民謡、民舞チャレンジ講習会、発表会	<p>狛江市内の小学生にプロの民謡歌手を講師に招き、歌唱指導を行い、市内の数が所施設で発表する。本年は民舞も市内小学校より公募し、指導、発表したいと思えます。日頃あまり触れることの少ない、日本古来の民謡、民舞に親しんでもらい、次世代に邦楽の楽しみを伝えることが出来れば良いと期待しています。</p>	200,000

スタート補助金の部

ごはん+居場所 おかえり

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

29年5月8日

狛江市長あて

申請者 所在地 _____

団体名 ジパン+居場所 おかえり

代表者氏名 宮川 裕子

年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

- 1 事業名称 子育て交流事業
- 2 事業費総額 134,000 円
- 3 交付要望額 50,000 円

添付書類

- ① 団体概要書 (様式第2号)
- ② 事業計画書 (様式第3号)
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ 団体構成員名簿 (任意様式)



団体概要書

フリガナ	ゴハンプラスイバヨ オカエリ		
団体名	ごはん+居場所 おかえり		
フリガナ	ミヤガワ ユウコ		
代表者名	宮川 裕子		
所在地 (事務所等)	住所	(〒 -)	
	電話	e-mail	
	FAX	HP	
	連絡担当者	フリガナ	
	氏名	電話	(自宅) (携帯)
	住所	(〒)	
	e-mail		
設立年月日	29年 4月 / 日		
設立目的	食を介して子どもから大人までの居場所作りを目的として設立した。具体的には、ごはん会を開催し、安価にて食事の提供、孤食の解消、地域交流を図る。その他に、教育相談活動や大人の子育て学習会を行い、地域全体で子育てを考える場を提供する。		
主な活動内容 ・活動実績	<p>○主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第4日曜日 12:00~15:00 ごはん会を行う。 ・毎月平日夜(不定期)学習会、懇談会を行う。 ・教育関係の講師による講演会と相談会を行う(不定期)。H29 9/16(土)当会アドバイザーであり、広不克行先生(神戸大学名誉教授)の講演会、懇談会を実施予定。 <p>○活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 4/2(土)第1回ごはん会(参加者48名) 		
主な活動地域	粕江市内	直近事業年度決算額	_____ 円
		(支出総額) 年度	
会員数	_____ 人 (うち市内 6人)	会費等	<input checked="" type="radio"/> 有 (年額・月額) _____ 円 <input type="radio"/> 無

事業計画書(1-1)

1 事業名称	子育て交流事業
<p>2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)</p> <p>貧困、虐待、いじめなど、今の子ども達を取り巻く環境は非常に厳しいものである。不登校や非行など、深刻な子どもの問題行動や、発達障害に悩んでいる保護者も多い。さらに深刻なだけでなく子育てには悩みのつものである。私達は安価にて食事を提供し、今問題となっている孤食の解消を図り、地域交流の為に交流会を行う。また、専門家を交えて教育相談活動を行い、地域全体で子育てを考へる機会を設ける為に、保護者のみならず、市内の子育て支援に携わる人や教育関係者などに対し、子育て学習会を開催する。</p>	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <p>市庁前の広場(狛江市東和泉2丁目20-12 之崎二番館1F)や 市内公民館、 地域センター</p>	
<p>② 対象者</p> <p>交流会 - 狛江市民 及び 関心のある方 (オープンに貧困家庭を拾っていく) 学習会・相談会 - 子育て中の保護者、教育関係者、子育て支援団体等関心のある方</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>ポスターの掲示や案内チラシの配布、団体Facebook、ホームページ等に刊行</p>	
<p>④ 具体的内容/事業実施体制</p> <p>「交流会」 毎月第4土曜日 12:00-15:00 大人(19歳以上 300円、子ども無料)</p> <p>「学習会」 毎月1回 - 平日夜 大人の学習会と懇談会(相談会) 3ヶ月に1回は 志不実行先生参加 6ヶ月に1回 - 講師を招いて 講演会と懇談会(相談会)</p>	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

5/17(水): 第1回学習会 27(土): 第2回シフト会 6月中旬: 第2回学習会 6/24(土): 第3回シフト会 7月中旬: 第3回学習会 7/22(土): 第4回シフト会 8月中旬: 第4回学習会 8/26(土): 第5回シフト会 9/16(土): 講演演説・懇談会	9/23(土): 第6回シフト会 10月中旬: 第5回学習会 10/28(土): 第7回シフト会 11月中旬: 第6回学習会 11/25(土): 第8回シフト会 12月中旬: 広木先生と第7回学習会 12/23(土): 第9回シフト会	H.30 1月中旬: 第8回学習会 1/27(土): 第10回シフト会 2月中旬: 第9回学習会 2/24(土): 第11回シフト会 3月中旬: 広木先生と第10回学習会 3/24(土): 第12回シフト会
--	---	--

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

1	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。 従来の子ども食堂、機能に、教育相談と大人の学習会を併せ持つ点、及び狛江市の教育関係団体や子ども支援団体の横のネットワークづくりを推進する点で先駆的であり、将来性のある事業であると考える。
2	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。 データとしては出ていないが、狛江市にも貧困家庭が存在するので、食事の提供と孤食解消の一助となる。また、子育て中の保護者、特に母親は不安を抱えているので、癒しの場となる事業であり、人口8万人という小さな狛江市だからこそ、地域で子育てできる機会となる事業である。
3	事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。 食料費に関しては、NPCフードバンク狛江と協力農家による寄贈で支出を抑えることが可能である。会場費も、確保可能であれば、公民館や地域センターを利用する。HP、FBを利用し、参加者や寄付を募る。
4	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。 さらに狛江には食料の提供をする団体が4団体存在するが、それらの情報交換する機会開催日や場所などとして、生活困窮者の同月内で多く利用する点にできる。また、狛江市には市教育相談室があるが、民間の教育相談団体は少なく、支援を必要とする者の選択肢を増える。子どもや保護者に寄り添うネットワークにできる。
5	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。 将来的には、正会員、賛助会員を募り、会費を徴収することを考慮に入れており、自立して活動できる可能性を期待できると考える。

【任意様式】

平成29年度粕江市市民公益活動事業補助金

<申請事業収支予算書>

団体名	ごはん+居場所 おかえり
事業名	子育て交流事業

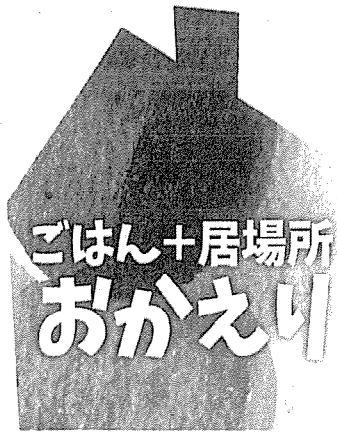
<収入の部>

項目	金額	内容
前年度繰越	0 円	
公益活動事業補助金	50,000 円	
募金	30,000 円	
参加費	54,000 円	300円×大人15人×12回
雑収入	0 円	
合計	134,000 円	

<支出の部>

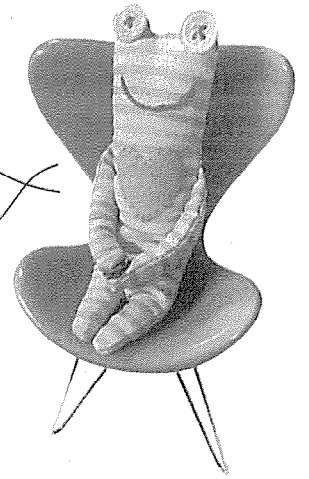
項目	金額	内容
会場費	36,000 円	500円×6時間×12回
保険料	18,000 円	30円×50人×12回
食材費	48,000 円	4000円×12回
企画費	10,000 円	講師料、交通費、会場費等
会議・活動費	1,000 円	打ち合わせ会議等
広告宣伝費	6,000 円	500円×12回
事務費	5,000 円	通信費、事務用品等
雑費	10,000 円	消耗品等
次期繰越	0 円	
合計	134,000 円	

④補助申請を有る事業の収支予算書と⑤団体の29年度収支予算書は同じ



「ただいまー」「おかえり！」

訪れた誰もがそう言える、
家のような居場所が作れたらいいね、
そんな思いを持った、
子どもの同級生のママ友ではじめました。



4月22日(土)

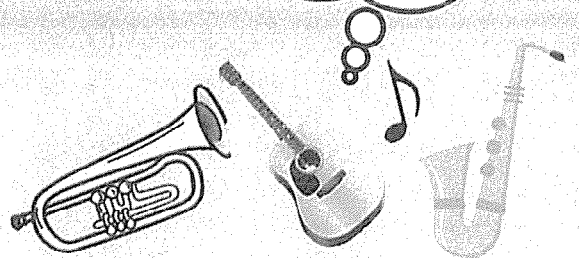
12:00~15:00

おうちの人に
言ってから来てね

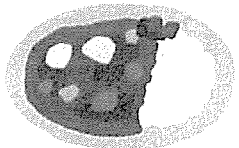
演奏会もあるよ!

参加費:こども無料

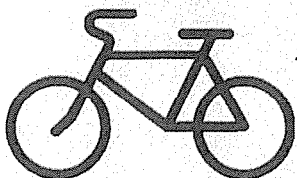
おとな(19歳以上)300円



～メニュー～
カレーライス



アレルギー対応は
していません。



自転車置き場あります!

場所:みんなの広場

狛江市東和泉2丁目20-12えのき2番館1F



<連絡先>ごはん+居場所“おかえり”

okaeri2017@gmail.com

ハンズ・プレイス

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

2017 年 5月 8日

狛江市長あて

申請者 所在地 _____

団体名 ハンズ・プレイス _____

代表者氏名 竹林 伸子 _____

年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

1 事業名称 _____ ハンズ・カフェ _____

2 事業費総額 _____ 80,000 円 _____

3 交付要望額 _____ 50,000 円 _____

添付書類

- ① 団体概要書 (様式第2号)
- ② 事業計画書 (様式第3号)
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ 団体構成員名簿 (任意様式)



団体概要書

フリガナ	ハンズ・プレイス		
団体名	ハンズ・プレイス		
フリガナ	タケバヤシ ノブコ		
代表者名	竹林 伸子		
所在地 (事務所等)	住所	(〒 -)	
	電話	e-mail	
	FAX	HP	
連絡担当者	フリガナ	電話	(自宅)
	氏名		(携帯)
	住所	(〒 -)	
	e-mail		
設立年月日	2017 年 2月 15 日		
設立目的	ろう者、難聴者、中途失聴者及びこれを支援する人たちの、憩いの場作りとともに、生涯にわたり活動できる場所を提供し、地域住民との交流を通して安心できるコミュニティ作りに寄与する。		
主な活動内容 ・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう高齢者、中途失聴・難聴高齢者のためのミニデイサービス(月1回(同じ障害を持つ者、手話のできる者、要約筆記ができる者による)) ・上記の者、又は一般市民を対象にしたカフェ事業(狛江市の空き家探し中)当面は年2回のイベントとして開催予定 ・インターネットによる情報発信 ・ハンズ・プレイス通信発行 		
主な活動地域	狛江市内(一般住宅集会室 あいとびあ・こまえくぼ)	直近事業年度決算額 (支出総額) 年度	0 円
会員数	17 人 (うち市内 14 人)	会費等	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (年額・月額) 1,000 円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	ハンズ・カフェ
<p>2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)</p> <p>長年の手話通訳、相談員と仕事の中で、聴覚障害の高齢者が施設入所してもコミュニケーションができず、また自宅で孤立し、寂しく亡くなっていく現状を知り、地域の中で見守っていく体制を作りたいとミニデイサービスを開設した。この事業を関係者、一般の人たちに知ってもらい、合わせて聴覚障害者への合理的配慮とはどういうことかを考えていただけるきっかけにするためハンズ・カフェを企画した。また、聴覚障害者の得意なこと、強みをアピールし、それを発揮できる場作りも試み、生涯にわたる居場所づくりを目的とする。</p>	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <p>こまえくぼ1・2・3・4(レンタルスペース)</p> <p>あいとぴあ(ボランティアの集い参加)</p>	
<p>② 対象者</p> <p>聴覚障害者(手帳の有無は問わない)支援者、地域住民(地域は問わない)</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>各団体への説明会、メール、FAX、ホームページ、各所へのチラシ配布、郵送</p>	
<p>④ 具体的内容/事業実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまえくぼのイベントスペースを借りて10:00~17:00の一日開催する。 ・ボランティアの集いにての開催。 ・カフェコーナーを設け手話、筆談にておしゃべりを楽しんでいただく。 ・手話と筆談で作る手作りコーナーを置き、会話とものづくりを楽しむ。 ・当事者の得意なもの展示コーナー(写真、絵画、小物、折り紙、ハンズプレイスパンフレット・他地域の活動状況等) ・他地域で先駆的な活動者による講演(パワーポイント、UDトーク等の情報保障) ・地域の看護師、栄養士によるミニトークショー(質問形式) ・プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、手話通訳等で情報を平等に届ける。 	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

5月中旬：講師依頼、調整

6月初旬：日時決定後、作品展示打診、

チラシ作製、各障害者関係団体呼びかけ、説明、ボランティア募集

6月下旬：スタッフミーティング、担当者決定、詳細打合せ

7月中旬～下旬 こまえくぼ1234にて一回目「ハンズ・カフェ」開催

ハンズ・プレイス通信にて概要報告

9月初旬：チラシ作製、制作小物決定、関係者呼びかけ、ボランティア募集

10月：あいとぴあボランティアの集いにて二回目「ハンズ・カフェ」開催

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

1	<p>先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。</p> <p>高齢聴覚障害者を中心にろう者、中途失聴者、難聴者の壁を乗り越え、手話ができる者、要約ができる者が情報保障することにより、専門職、また他の障害を抱えた人たちとも交流のできる場所となり、それぞれの力を発揮できる場所作りを目指す。</p>
2	<p>市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。</p> <p>手話通訳、要約筆記養成の基盤があり、市民も福祉活動に熱心である狛江市で、視覚による情報保障を普及させ、当事者にも支援者にも活躍できる場を提供し、日本一安全安心+優しい街狛江の一助になる事業を目指す。</p>
3	<p>事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。</p> <p>聴覚障害者は手先が器用で、物づくりを得意とする。手作り品は素晴らしいが他の地域の販売品と大差なく販売経路も限られている。カフェとホームページでの作品介绍と新しい感覚の作品開発とで、発信する機会を広げて会員拡大を目指す。</p>
4	<p>事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。</p> <p>視覚による情報保障を充実させ、高齢聴覚障害者の得意なことを引き出し、それを他者に伝えることで更に意欲を高めることが出来る。</p> <p>聴覚障害者と交流することによって、聴覚障害者への合理的配慮とはどのようなことなのか、コミュニケーションしつつ考える機会となる。</p>
5	<p>事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。</p> <p>狛江市の空き家を利用しての、デイサービス・カフェが運営できるよう、この事業を利用して、聴覚障害者、支援者のみならず地域住民に広く知ってもらい、聴覚障害者、手話、要約の知識があるもの、他の障害者、他地域住民が等しくコミュニケーションできる場として使ってもらえるよう努力する。</p>

平成 29年度狛江市市民公益活動事業補助金
 <申請事業収支予算書>

団体名	ハンズ・プレイス
事業名	ハンズ・カフェ

<収入の部>

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	50,000 円	
会費より	10,000 円	
寄附	10,000 円	有志による
参加費	10,000 円	(カフェ・手作100円×50人×2回)
	円	
	円	
合計	80,000 円	

<支出の部>

項目	金額	内容
講師謝礼	20,000 円	東京都、又は全国にて先駆的な活動団体理事
講師謝礼(2人)	10,000 円	専門職によるミニ講座とトーク
消耗品	10,000 円	コピー用紙、インク、文房具
お茶、菓子代	10,000 円	来場者50人~100人予定
会場費	3,000 円	こまえくぼ、あいとぴあ交渉中
材料費	20,000 円	手作り品(コットン、のり、箱等)
ボランティアの集い参加費	1,000 円	
交通費	6,000 円	市外からの講師、ボランティア
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	80,000 円	

平成 29年度狛江市市民公益活動事業補助金
 <団体収支予算書>

団体名	ハンズ・プレイス
事業名	デイサービス・カフェ事業

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
会費より	50,000 円	50名(目標)
助成金・補助金	0 円	未定の為
寄附	120,000 円	有志による
参加費	5,000 円	(カフェ@100円×25人×2回)
物づくり収益	5,000 円	(手作り品@100円×25人×2回)
	円	
合 計	180,000 円	

<支出の部>

項 目	金 額	内 容
ボランティア交通費	108,000 円	1000円×12人×9回
講師謝礼(2人)	10,000 円	専門職によるミニ講座とトーク
消耗品	10,000 円	コピー用紙、インク、文房具
食費補助	18,000 円	100円×20人×9回
会場費	3,000 円	1000円×3回
材料費	20,000 円	手作り品(コットン、のり、箱等)
通信費	5,000 円	インターネット関係
交通費	6,000 円	利用者送迎
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	180,000 円	

ハンズプレイス 2017年講師予定者

月日	講座名	講師	備考
7月	手作り品のポイント	戸村氏	(有)西町エステート
8月	体調管理・ココが知りたい	西河氏	看護師
10月	美味しく元気に 衛生的に	藤田氏	管理栄養士
2月	身体の痛みとストレッチ	鈴木氏(難聴)	鍼灸師

- ・順番は変更になる場合があります。現在は予定で、交渉中。
- ・このほかに、当事者による得意なこと講座開催予定。

今後の予定

月日	曜日	テーマ	場所	食事	備考
5/20	土	コットンティッシュ ケース作り	グランドメゾ ン森のクラブ ハウス	手作り	開催日決定
6/22	木	皆でキッチン	西河原公民館	手作り うどん	全員参加型
7/下旬	土	ハンズ・カフェ (講演、ミニ手作り教室)	こまえくぼ1 234(社協)	カフェ	手作り展示 手作り教室
10/1	日	ハンズ・メイド &カフェ	あいとぴあ (社協)	カフェ?	手作り教室


- ・7月、ハンズ・カフェにて足立区で、聴覚障害者の先駆的な活動を行い、社会貢献者賞を受賞した当事者団体理事長又は、東京都、全国で展開している聴覚障害者のヘルパー協会理事長をお招きして、講演交流を予定している。(交渉中)

聴覚障がい者のための デイサービス&カフェ

-全ての聞こえない人と支援者と自分のために-

「ハンズ・プレイス」

HandsPlace



2017年2月
竹林 伸子

◆デイサービス事業◆当面はランチ会として

平成29年4月より一か月に一度開催予定

場所	あいとびあ 西河原、市民センター グランドメゾン狛江 等
対象	65歳以上の聞こえない方、聞こえにくい方
内容	リハビリ体操、手作業コーナー、昼食、おしゃべりタイム
参加費	昼食代400円
募集方法	聴覚障がい者会、ふれあいの会、登手研、こまくさ、手話サークル、HPでの声掛け
企画	志を同じにする当事者、会員担当（当面は竹林の人脈による）
会員	一年間企画を実施し会員募集を行う
会費	一口1000円（年間）
会員証及び 記念品	会員による手作り品
配慮	視覚的情報保障（手話、筆談マット、プロジェクター、UDトーク等）
スタッフ	当面はボランティア（有志による）

◆カフェ事業①予定◆

聞こえない方、聞こえにくい方、支援者の居場所づくりのために	
空き家利用	市への申し込み後、リフォームを行いデイサービスのない曜日、時間にオープンする。
時間	当面は短時間（12:00～17:00例）
スタッフ	手話、筆談できるもの（聴障者、難聴者、中途失聴者、通訳者等）
謝金	東京都の最低賃金を下回らない
法律	労働条件、消防法、食品衛生法、ボランティア保険等は事業本格始動時まで確認する
手作り品販売	聞えない方、支援者の作品を展示し、販売する
街角ギャラリー	聞えない方、支援者の作品を週代わり、月替わりで展示
園芸	家屋の周囲を利用しての野菜作り（デイサービスでの食材と同時に日光を浴びて体力、知力の維持、向上を目指す）

◆カフェ事業②予定◆

▶ 聞こえない方、聞こえにくい方、支援者の居場所づくりのために

1	レンタルスペース事業
2	短時間（2時間単位）での時間貸し事業
3	聞えない方、支援者のしてほしいこと、したいことの支援
4	例えば、整体、スマートフォンちょっと知りたい教室、ワード、エクセルのここが知りたい、手作業教室、打ち合わせのための会議等
5	子育て中のパパ、ママには先輩パパママ、ジジババからのメッセージを
6	年配者には尊敬と思いやりと気遣いを
7	何気ない日常のオシャレりの場所として
8	「こんな時、どうしたらいいの？」ちょっと不安な時の相談に

◆ホームページ◆



◆ホームページ作成◆

- ◆若い聴覚障がい者、仕事をして地域のイベントに参加できない人たちへの情報発信として
- ◆粕江の活動を知りたい人たちのために
- ◆粕江を拠点として活動する聴覚障害者団体の紹介として
- ◆デイサービス事業、カフェ事業等のPRとして
- ◆会員募集、寄付金募集のために

◆人材募集中◆

- ▶ 手話ができる方、筆談対応できる方、パソコンで要約筆記のできる方
- ▶ 介護ヘルパーの資格を持っている方
- ▶ 料理の得意な方、調理師さん、管理栄養士さん知識と経験を貸して下さる方
- ▶ 庭いじりが好きな方、美味しい野菜を作ってデイサービスで提供したい！方
- ▶ 手作業が得意と一緒に企画から製作まで手伝って下さる方
- ▶ パソコン、スマートフォンが得意な方
- ▶ 看護師さん、薬剤師さん、健康生活のチェックの方法教えて下さる方
- ▶ 健康オタクの方、健康情報のあれこれ教えて下さる方
- ▶ OT、PTの方、効果的なかからだの動かし方、グループセッションの方法のアドバイスを下さる方
- ▶ 社会福祉士、精神保健福祉士のかた一緒にコミュニティを作ってください
- ▶ その他専門的知識、情熱を持った方

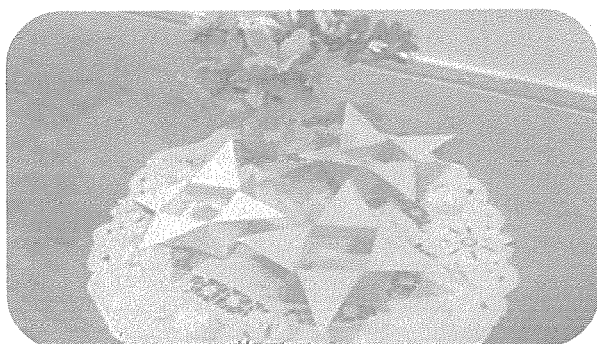
◆今後のタイムスケジュール◆

- ▶ 2月～3月初旬
- ▶ 団体名決定（ハンズプレイス決定）
- ▶ 狛えくぼ123に団体登録⇒2/16申請終了
- ▶ 市役所地域推進課に空き家情報聞き取り
- ▶ 各団体（当事者団体、聴覚関係団体）相談、連携
- ▶ 3月～
- ▶ 聴覚障がい者団体説明会&デイサービスのためのボランティア募集
- ▶ デイサービス日時、場所、金額決定⇒3/22決定連絡（4/22、5/20開催決定）
- ▶ スタッフ打ち合わせ（メニュー作り⇒カレーショップメイと連携）（役割分担）
- ▶ 基本の方針主要メンバーに発表
- ▶ 車送迎確認⇒ハンディキャップ狛江と連携
- ▶ 助成金申請準備その他申請先勉強会参加

ハンズプレイス通信NO1

ハンズプレイスは東京都狛江市にある聞こえない方、
聞こえにくい方の為の憩いの場です。

第1回、デイサービス・ランチ会が、4月22日(土曜日)開催されました。
利用者さん、支援者さんの作品、食事などを紹介します。



菓子入れ

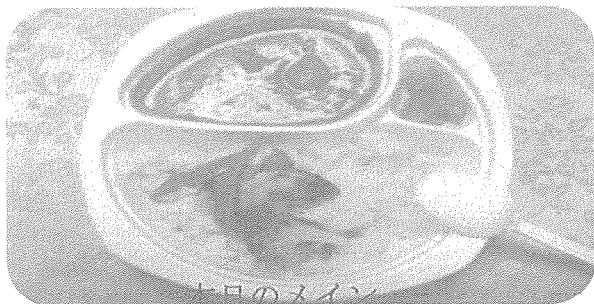
利用者さんが教えてくれました。
お花は調理班が飾ってくれました。



本日の手作り品

ポケットティッシュ入れ

時間が短くて、もっと丁寧に作り
たかった！の意見も



本日のメイン

カレーショップメイ

食べるのに夢中で採りたて野菜
のサラダ、ヨーグルトゼリーの
写真を忘れました。

次回に、ご期待ください。



調理班持参の箸置きを利用者さん
が自宅に持ち帰って綺麗に

レイアウト！さすがです。

次回開催は5/20(土曜日)です。利用者さんとしてか、支援者ボランティアか、申し込みを迷
ってらっしゃる方はまずは見学で！！

一回目は、誰が利用者で、ボランティアか分からないほど、入り混じっての交流でした。
でも、久しぶりにお会いできた方もいらして、嬉しかったです。

次回に向けて、参加者の振り返りから

スリッパの数が
足りない。歩行
に注意を

ティッシュ箱2
個作製には時間
が足りない

調理班とフロア班
の連携とチームリ
ーダーが必要

手拭きとテーブル用
に、ウェットティッ
シュの設置を

説明時、パワ
ポだけでなく
実際に実演も
あるといい

利用者さんと支
援者のネームプ
レートを変えた
方が分かりやす
い

バイタルチェックのホ
ウレンソウ(報告、連絡、
相談)の説明が必要

とても暖かいムード
で癒されました。聴
障者は交流の場が少
ないのでオシャベリ
の時間がもっとあつ
た方がよい

はじめてとは思え
ない
粕江の人材に驚い
ています

対人援助の間合い
を考える(見守る
べきか、手をだす
べきか)

飲み物コ
ーナーへ
の動線を
考える

ひとまずは、こ
れくらいの人数
でちょうどよか
った
場所も明るく雰
囲気もよい

至れり尽くせりのサービスに感激しました。
お食事やテーブルセットも愛情を感じ、楽
しませていただきました。ランチタイムは
スタッフも一緒に楽しめるといい

ハンズ・プレイス報告(4月号発行時)

4/22 (土) 申込者25人、参加者22人

現在会員数 17名

寄付金 6500円 (T様、S様、O様、M様)

編集後記

ヘルパーセラピー原則

リースマン(F. Riessman)が提唱。「援助をする人がもっとも援助を受ける」といった意味です。

今回の自分がまさにこの状態でした。

参加者の皆様の優しい笑顔、気配り、声かけ、感謝の言葉、どれをとっても言葉にできないくらい心が揺さぶられました。

聞こえない、聞こえにくい方のために！などと偉そうに始めましたが、とんでもない思い上がりで、助けられたのは自分でした。皆様に感謝です。

HandsPlace


連絡先：ハンズプレイス 竹林 伸子

FAX 03-4500-0216

メール nonchan.free@gmail.com

ボッチャ・(ともしび)

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

平成29年5月8日

狛江市長あて

申請者 所在地 _____

団体名 ボッチャ・(ともしび) _____

代表者氏名 岡本 浩史 _____ (印)

年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1 事業名称 | _____ 障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及 _____ |
| 2 事業費総額 | _____ 58,000 _____ 円 |
| 3 交付要望額 | _____ 50,000 _____ 円 |

添付書類

- ① 団体概要書 (様式第2号)
- ② 事業計画書 (様式第3号)
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ 団体構成員名簿 (任意様式)



団体概要書

フリガナ			
団体名	ホップチャ。(ともしん)		
フリガナ	ホップチャ。(ともしん)		
代表者名	園本浩史		
所在地 (事務所等)	住所	(〒 -)	
	電話		e-mail
	FAX		HP
連絡担当者	フリガナ		(自宅)
	氏名		電話 (携帯)
	住所	(〒 -)	
	e-mail		
設立年月日	平成28年 7月 日		
設立目的	障がい者スポーツを通じ、障がい者の社会参加、社会交流を積極的に促し支援する。 その目的を達成するために、ホップチャの普及に力を入れる。		
主な活動内容 ・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校への「出前講座」 ・ 福祉施設との交流 ・ 「市民ホップ体験教室」の開催。 		
主な活動地域	柏江市	直近事業年度決算額 (支出総額) 28年度	— 円
会員数	13人 (うち市内 12人)	会費等	無・有 (年額・月額) — 円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	障がい者スポーツ「ホッケー」の普及
2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京オリンピック・パラリンピックに向けスポーツへの関心の高まり ・ 地域の障がい者スポーツの認知向上に取組む必要に迫られていること (例: 「ホッケー」はリオパラリンピックで日本代表が出場し知名度が向上した) ・ いずれも、これらにより、誰もが楽しめる「ホッケー」と地域の交流に生かされる。 	
3 事業の内容	
① 実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 ・ 地域センター ・ 福祉施設
② 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童 ・ 地域市民
③ 告知方法	広報「ほほ」他。
④ 具体的内容/事業実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「××教室」において「△△講座」を実施し、表参道に当分の間は、 ・ 事前には行政担当部署に相談し、了承(許可)をとりとる。 ・ スポーツ指導員の協力と得られる体制について、 ・ 忘れずに。 	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

出前講座、体験教室と行政担当者と相談しながら、出来れば頻りに開催したい。

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

1	<p>先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供から高齢者迄一踏に楽しめる ・ 三世代交流を図れるイベントである ・ 障がいのある人に理解の一踏に楽しめる
2	<p>市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。</p> <p>全と</p>
3	<p>事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。</p> <p>ほかの市にはワークショップの開催が5,000円/1回を購入可能。(消耗品は別考慮)。当初は2回実施する。障がい者用シフト、障がい児は次年度以降の開催か？</p>
4	<p>事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。</p> <p>地域の交流に期待できる</p>
5	<p>事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。</p> <p>地域内にボランティア育成を促すことと期待できる。(巡回活動場所の確保の問題？)</p>

平成 29 年度狛江市市民公益活動事業補助金

<申請事業収支予算書>

・補助申請と対応収支予算書と
 ・団体の事業収支予算書と
 同一です。

団体名	ボウチヤ、(ともしひ)
事業名	障がい者スポーツ「ボウチヤ」の普及

<収入の部>

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	50,000円	
国庫交付金	8,000円	
	円	
	円	
	円	
合計	58,000円	

<支出の部>

項目	金額	内容
備品	25,000円	ボウチヤボール(セット)
備品	20,000円	屋内外兼用マット
消耗品	5,000円	コンパス(組マスタングテープ)
その他	8,000円	押込ボール(100枚)
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	58,000円	

上和泉地域センター団体登録申請書

ジャンル	社・子
〒	

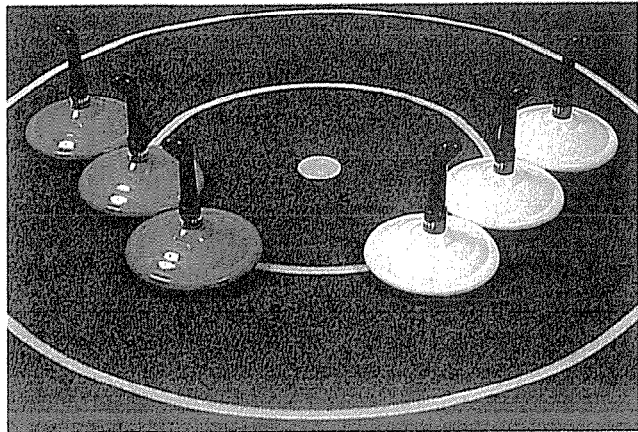
* 利用資格等確認のため、必ず会員名簿を添付してください。

学校・保育園・学童・地区会・マンション管理組合・町会・団地自治会・老人会は不要。
但しPTAの一部による余暇活動（スポーツなど）については、名簿要。

団体名		ボクサー、(ともい)		社会教育関係団体 カード番号	
代表者	フリガナ氏名	岡本 浩 文 (在住・在勤・在学)		電 話	自宅
	住所	狛江市		携帯	
連絡先	フリガナ氏名	(在住・在勤・在学)		電 話	自宅
	住所	狛江市		携帯	
* 連絡先を聞かれたらお教えすることがございますので、ご了承ください。					
活動内容	主な活動 (具体的にご記入ください) * ハラスメントの普及 ⇒ 障がい者・高齢者以外 ⇒ 地域と元気に * カンパニーの視察等に見学 ⇒ 日際交流 PTAや父母会の登録の際は、こども(高校生以下)が主体で活動する時点に限り 減免(半額)の対象になります。保護者の集まりや会合などは対象外です。				
活動日時	1. 毎週 _____ 曜日 時間帯 _____ : ~ _____ : 2. 月 回 第 _____ 週 曜日 時間帯 _____ : ~ _____ : 3. 不定期				
会員数	13 名 人	発足年月	2016年 7 月頃		
会員名簿	不要の場合以外は必ず提出してください ※名前・連絡先が明記されたもの。高校生以下は生年月日も必要です。 (上の内容が記入されていれば、お手持ちの既存の名簿でも構いません)				
会費	有 (月額 _____ 円) • <input checked="" type="checkbox"/> 無	会則	有 • <input checked="" type="checkbox"/> 無		
講師・先生	有 (氏名と住所をご記入下さい) • <input checked="" type="checkbox"/> 無				
* 代表者と別であること	氏名				
	住所				
受付日	2016年 7 月 21 日	申請受付者	7/21 氏西		
※正式登録日	20 ____ 年 ____ 月 ____ 日	新規承認連絡	8/16 氏西		
備考	団体名簿記入		8/16 氏西		
	団体一覧記入		8/16 氏西		
		PC			

◎ 利用料減免照合のため社会教育関係団体に登録している場合は番号をご記入ください ※但し減免は体育館利用時に限ります

* 新規登録の場合は提出後に運営協議会による審査の上、1週間以内に登録完了のお返事を申し上げます。



ユニカール (公財)日本レクリエーション協会推薦品 日本ユニカール協会検定品

【スタンダード】

ユニカールスタンダードストーン(USS-BU-Y)

1個 ¥40,000+税
重量:3kg 直径:27cm 材質:特殊合成樹脂
色:青・黄 スウェーデン製

ユニカールスタンダードカーペット(USK)

1枚 ¥149,000+税
サイズ:L10×W2m 材質:ポリエステル
色:緑 スウェーデン製

ユニカールスタンダードセット(USSET)

1セット ¥389,000+税
【セット内容】ストーン6個(青/3・黄/3)
スタンダードカーペット1枚 付属:ワックス・
スコアカード・ビデオテープ・ルールブック

【ジュニア】

ユニカールジュニアストーン(UJS-BU-Y)

1個 ¥30,000+税
重量:2kg 直径:23cm 材質:特殊合成樹脂
色:青・黄 スウェーデン製

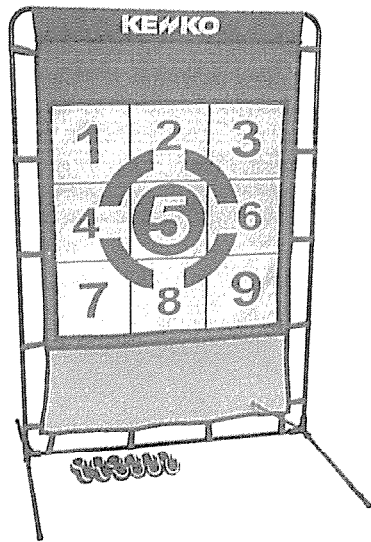
ユニカールジュニアカーペット(UJK)

1枚 ¥72,000+税
サイズ:L8×W1.2m 材質:ポリエステル
色:緑 日本製

ユニカールジュニアセット(UJSET)

1セット ¥252,000+税
【セット内容】ストーン6個(青/3・黄/3)
ジュニアカーペット1枚 付属:ワックス・
スコアカード・ビデオテープ・ルールブック

スティックボール



ケンコースティックボール
ターゲットナイン(STTN)

1枚 ¥12,000+税
サイズ:L160×W100cm
材質:ナイロン 色:青 台湾製

ケンコースティックボール
専用フレーム(STF)

1台 ¥8,000+税
サイズ:H175×D103×W115cm(組立時)
材質:スチール 色:黒 台湾製

ケンコースティックボール
専用ボール(STB)

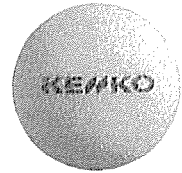
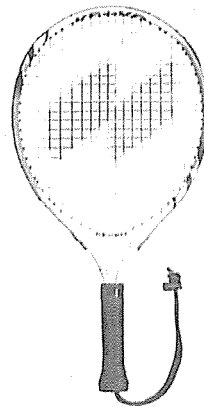
1ダース ¥3,600+税
重量:約42g(個) 直径:約65mm(個)
材質:中ゴム・表面/フェルト 色:赤・青
【セット内容】ボール12個(赤/6・青/6)
台湾製

ケンコースティックボール
ターゲットナインセット
(STTNSET)

1セット ¥20,000+税
【セット内容】ボール12個(赤/6・青/6)・
ターゲットナイン1枚・専用フレーム1台
台湾製

ラケットテニス

(公財)日本レクリエーション協会推薦品



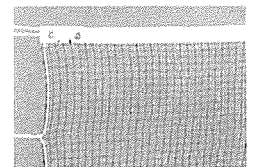
ケンコーラケットテニス
ボール(RB)

1ダース ¥3,600+税
重量:約15g(個) 直径:約69mm(個)
材質:ウレタンポンジ 色:黄 日本製

ケンコーミニチュアテニス ラケット
(MINI-TR)

1本 ¥5,000+税
サイズ:全長/500mm・幅/255mm・グリップ
部/約120mm 重量:約190g 材質:本体/
アルミ×グラファイト・カバー/PVC 色:白×青 中国製
※ストラップ付・専用ラケットカバー付

※その他ミニチュア型ラケットスポーツとして使用できます。

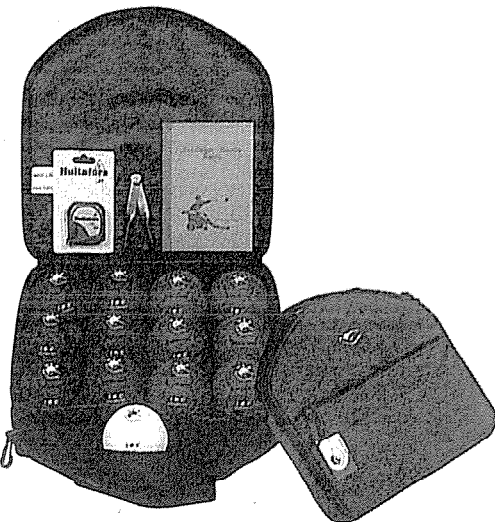


ケンコーラケットテニス
ネット(RTN)

1張 ¥15,000+税
サイズ:H90×W610cm
材質:ナイロン 色:青 日本製
※支柱は、バドミントン用を
使用してください。

ボッチャ

Handi Life社製 CPISRA規格 日本ボッチャ協会公認
(公財)日本レクリエーション協会推薦品



日本ボッチャ選手権大会使用球
ボッチャワールドカップ使用球
パラリンピック使用球

ケンコーボッチャボール
(BOC-W・R・BU)

各色1個 ¥6,300+税
重量:275±12g 周囲:270±4mm
材質:ボール表皮/合成皮革・
内部/合成樹脂
色:白・赤・青 デンマーク製

ケンコーボッチャセット
(BOCSET)

1セット ¥80,000+税
【セット内容】ボール13個
(白/1・赤/6・青/6)
付属:バッグ・メジャー・コンパス・
ルールブック
デンマーク製

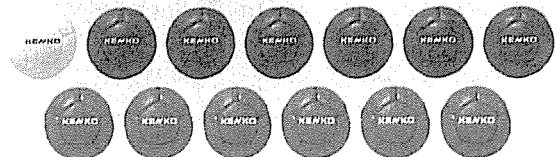


NEW

レクリエーションボッチャ
(REC-BOC)

1セット ¥25,000+税
【セット内容】ボール13個
(白/1・赤/6・青/6)
付属:オリジナルケース(ショルダー付)
パキスタン製

【ボール仕様】
重量:280g サイズ:直径86mm
材質:表皮/レザー(合成皮革)・
内部/合成樹脂



ベイスボール

ローバウンス

ソフトボール

関連用品

ソフトボール

ボール

タイボール

ボール

スクール用品

スポーツ

コートマット

オリジナル

関連用品

関連用品

関連用品

その他

チャレンジ補助金の部

エネルギーシフトを実現するこまへの会

(略称・エネこま)

狛江市長 高橋 都彦 様


団体名 エネルギーシフトを実現するこまえの会

代表者名 高木 聡子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成29年度）

事業名称	多摩川での小水力発電事業の可能性を探る事業					
実施時期（予定）	2017年6月11日～2018年3月					
交付要望額	1	4	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	「水と緑のまち・狛江」として、多摩川を活用して再生エネルギーを創出することの可能性を市民に広く問いかけ、また専門家を交えてその実現性を市民間で探究する活動。具体的には、世界の再生エネルギー現状を伝えるドキュメンタリー映画を上映して再エネの必要性を知り、小水力発電の普及活動を行う社会法人の専門家を招いた学習会を行う。以上を下地として市民意見を広く集め、多摩川の再エネ活用に関する意識を育てる効果を期待する。					

申込団体概要

団体名	エネルギーシフトを実現するこまえの会（略称・エネこま）					
代表者名	高木 聡子					
所在地 （事務所等）	住所	〒 -)				
	電話			e-Mail		
	FAX			HP		
連絡担当者	氏名				電話	(自宅) (携帯)
	住所	〒 -)				
	e-Mail					
会員数	8 人（うち市内 8 人）	会費等	無・有（年額・月額）	500 円		
主な活動地域	狛江市	直近事業年度決算額 （支出総額）H.28 年度		15,409 円		
主な活動実績	2015年度 行政提案型市民協働事業実施（環境政策課による低炭素社会の実現に向けた再生エネルギーの発掘等事業）。ほか、2015年以降、こまエコまつり「親子工作教室」企画実施を定例とする活動など。					

事業計画

多摩川での小水力発電事業の可能性を探る事業

<Ⅰ> 多摩川での小水力発電事業の可能性を探る学習会：9月実施予定

講師：全国小水力利用推進協議会

内容：二カ領宿河原堰を活用して小水力発電事業を行えるか？
その可能性と実際について。

会場：和泉多摩川地区センター（予定）

<Ⅱ> 世界における再生エネルギーの現状を知る：こまエコまつり（6月）

内容：ドキュメンタリー映画『日本と再生』をこまエコまつりにて上映

会場：中央公民館第4会議室

観賞人数：2回上映、合計60名を予想。

<Ⅲ> ⅠとⅡを踏まえ、多摩川を活用した再生エネルギーに関して

市民の意見を広く調査する：10月～2018年3月

内容：Ⅰの学習会終了後、多摩川河川沿いの地区にアンケートを配り（3000部予定）、身近にある多摩川での再エネ事業に関する意見を募り集計する。集計結果から、多摩川の再エネ活用の可能性を探る。その際、再エネ専門家に助言を求めることも含む。

事業収支予算書 (平成 29 年度)

事業総額 (見込み) 158,000 円

(収入)

区 分	見積額 (単位: 円)	積算根拠 (単価, 数量等)
狛江市より	140,000 円	チャレンジ補助金より
映画参加費	18,000 円	観賞代 300 円/人 × 60 人
合 計	158,000 円	

(支出)

区 分	見積額 (単位: 円)	積算根拠 (単価, 数量等)
学習会謝礼金	30,000 円	講師謝礼
映画レンタル料	25,000 円	
映画経費	5,000 円	郵送料、チラシ印刷、消費税など
アンケート 印刷費	20,000 円	多摩川周辺地区・配布 3000 枚
アンケート返送 費	40,000 円	3000 枚 × 15% × 77 円
アンケート制作 分析料	33,000 円	
学習会諸経費	5,000 円	会場費、チラシ印刷
合 計	158,000 円	

エネルギーシフトを実現するこまえの会

平成 29 年度エネこま収支予算書

(収入)

区 分	見積額 (単位:円)	積算根拠 (単価, 数量等)
会費	4,000 円	年会費 500 円 × 8 人
映画参加費	18,000 円	300 円/人 × 60 人
チャレンジ補助 金 (見込み)	140,000 円	
合 計	162,000 円	

(支出)

区 分	見積額 (単位:円)	積算根拠 (単価, 数量等)
学習会謝礼金	30,000 円	講師謝礼
学習会諸経費	5,000 円	会場費、チラシ印刷
映画レンタル料	25,000 円	「日本と再生」レンタル料
映画経費	5,000 円	郵送料、チラシ印刷、消費税など
アンケート制作分 析料	33,000 円	
アンケート 印刷費	20,000 円	多摩川周辺地区・配布 3000 枚
アンケート返送費	40,000 円	3000 枚 × 15% × 77 円
こまエコまつり工 作教室見本キット	4,000 円	試作用
合 計	162,000 円	

<団体概要>

名称：エネルギーシフトを実現するこまえの会（略称・エネこま）

会員：8名

発足：2013年3月～

目的：粕江で取り組める再生エネルギー社会実現のための活動。

実績：①2015年度 行政提案型市民協働事業認可団体

（環境政策課・低炭素社会の実現に向けた再生エネルギーの発掘等事業）

②2016年6月 こまエコまつり参加団体

「親子工作教室・風車で電気をつくろう」企画実施

※2017年6月こまエコまつり参加予定「親子工作教室（テーマ：再エネを動力とした工作）」。

今後、毎年こまエコまつり参加を定例化の予定。

<エネこま・2013年3月～2017年3月 活動（事業）報告>

毎月1回の会合を定例とする（8月はなし）。

- 2013年7月：多摩電力視察（恵泉女学院）。
- 2013年9月：世田谷市民発電見学。
- 2013年11月：青梅の小水力発電公開に参加。
山間部に設置された小水力発電機を視察。
- 2014年3月16日：粕江市西河原公民館にて学習会開催。
「どうなっているの電気料金～請求書から読み解く電気料金」
講師・山崎求博氏
後援・粕江市
協賛・千代田第一工業株式会社、城南信用金庫、ほか
約40名ほどの市民が受講。
- 2014年9月：2015年度行政提案型市民協働事業認可決定。
（環境政策課・低炭素社会の実現に向けた再生エネルギーの発掘等事業）
- 2015年4月～2016年3月 上記、行政提案型市民協働事業実施
（詳細は別紙）
- 2016年6月 こまエコまつり参加「親子工作教室」企画実施。

以上

**再生可能エネルギー設備設置
実験運営に係る下見調査委託
完了報告書**

2015年8月24日

一般社団法人小水力開発支援協会

5 宿河原堰（多摩川本流）

（1）概要

多摩川本流から二ヶ領用水（右岸、川崎市）に取水するための取水堰（転倒堰）である。下流側の水叩きを含めて、およそ 3m の水位差（落差）がある。堰の上流側（魚道より上）から取水し、河川敷を導水して発電し、堰の直下で放流することが考えられる。導水路延長は百数十 m 程度となる。



【写真】

宿河原堰の遠景。写真右から左に多摩川本流が流れており、ここから取水した二ヶ領用水が対岸の川崎市内に流れていく。

河川敷に発電所を建設するスペースはあるが、河川区域内であり洪水時に沈水する場所であることから、流下阻害を起こさないことや、発電所の水没対策に注意が必要である。



【写真】

上流側（写真右手）と下流側（写真正面）の水叩き部分よりさらに左）の間に約 3m の水位差があり、これを発電に利用することが可能である。ただし、右岸（写真奥）の二ヶ領用水の取水に悪影響を与えてはならない。また、写真手前に魚道があり、魚類の遡上にも注意が必要である。

（2）検討事項

国が建設し管理している堰を利用することや、一級河川本流の河川管理に影響する地点であることから、災害を引き起こさないことや既存の農業用水等に悪影響を及ぼさないことなど、土木・水利面でしっかりした計画が必要となり、手続きにも相当の準備と労力が必要になる。とはいえ、地域で取り組む小水力発電に対して国も前向きになっているので、実現可能性は充分あるだろう。

国土交通省の水文水質データベース（石原観測点）から推測すると、宿河原堰では豊水量（1 年間 365 日のうち多い方から 95 番目の日平均流量）が $30\text{m}^3/\text{s}$ 程度、平水量（同じく 185 番目）が $20\text{m}^3/\text{s}$ 程度、低水量（同じく 275 番目）が $13\text{m}^3/\text{s}$ 程度あると推測される。ただし、二ヶ領用水等既存の水利権があるため、それを控除する必要がある。

(3) 考えられる発電計画

固定価格買取制度で最も単価が高いのは出力 200kW 未満の区分であることから、たとえば 199kW 程度の出力で開発することが考えられる。この場合、最大使用水量は 9m³/s 程度必要であり、年間発電量は 100 万 kWh 程度（平均的な家庭 2 百世帯分）の発電が可能となり、売電収入は現在の買取単価で 3400 万円程度と予想される。

一方、可能な限り使用水量を多くし出力を高めるとすると、使用水量を 20m³/s 程度とし、出力を 440kW 程度にすることが考えられる。この場合年間発電量は 170 万 kWh 程度（同、3 百数十世帯分）となり、売電収入は同じく 5800 万円程度と予想される。

一方工事費については、多摩川本流での工事であり災害防止対策等も含めてかなり高額になる可能性がある。ここで概算することは困難だが、3-4 億円から 7-8 億円程度かかる可能性がある。

とはいえ、既存の堰を有効利用し、街中に建設する社会的意義の高い計画なので、事業化可能性を調査する価値が高いといえる。

6 まとめ

(1) 売電事業可能地点

売電事業規模の発電可能性がある地点は、今回の調査範囲では宿河原堰だけであった。この地点は事業化可能性を調査する価値がある。

狛江市の地形条件（野川が多摩川に合流する平坦地）から考えると、他に有力地点を見出す可能性は低いと推測する。

(2) 常設の環境教育施設

常設を想定した場合、管理のしやすさ（放置した状態で人が接触しにくいことなど）と、デモンストラクション効果を考えると、西河原自然公園の池が他の地点より有力ではないかと考えられる。

(3) 環境教育イベント

イベント的に実施するのであれば、西野川せせらぎは有力な地点である。水にふれあいつつ、流水のエネルギーを実感することができる。

平成 27 年度行政提案型市民協働事業

低炭素社会の実現に向けた 再生可能エネルギー発掘等事業への提案

エネルギーシフトを実現するこまへの会(エネこま)/拍江市

事業の目的

市内で再生可能エネルギー(小水力)発電の可能性の調査・発掘
低炭素社会の必要性を共有し、次世代へつなぐ環境教育

5月 22 日、市内4か所の小水力発電資源を調査

市内4か所を調査し、まず初めての小水力発電を行うのに一番現実的で適しているのは、西河原自然公園のせせらぎ(3参照)利用ではないかと考えています。

1. 市役所敷地内の地下水



- ・少なくとも 30 年以上湧き出している地下水を利用したい、小水力発電に利用できないか、との視点でエネこまが着目してきたもの。

☆中島さん(全国小水力利用推進協議会)からは「地中熱ヒートポンプシステム」の可能性はあるとのことだった。

2. 西野川せせらぎ

- ・夏場は子どもたちの水遊び場になっていることから、せせらぎへの設置が適当なのか考える必要がある。



3. 西河原自然公園せせらぎ



- 地下水をくみ上げ、循環させている。
- 水量があるので、小水力発電は可能。
- 発電量は10w以下の規模だろうが、街路灯をLEDにすると十分な発電量。
- 日中発電分を蓄電し、夜間街路灯の電気にまわすことが可能。

4. 多摩川二カ領宿河原堰

- 多摩川の水を河川敷に導水して発電することが可能。
- 実際には河川管理上のさまざまな制約や、既存の水利権者の権利範囲の確認等が必要。
- 温暖化防止やエネルギー対策の面で効果があることなので、今後の国の政策動向を見ながら具体化を働きかけるタイミングを待つのが良い。



6月7日、講演会「みんなで作るご当地エネルギー」

3・11 震災後、地元の自然エネルギーを見直し電力として活用しようとしている日本各地の動きを「ご当地エネルギー」取組みとしてお話ししてもらいました。参加者みな、私たちみな、明日の社会をつくるのだ！と意気込みと元気をもらった講演会となりました。



講師：高橋真樹氏（ノンフィクションライター。
国内外をめぐり持続可能社会を目指して取材・執筆）

○導入のクイズから

- Q1. 効率の良い節電は？ ①太陽光発電 ②性能
③断熱リフォーム ④スマートハウス

A. ③断熱リフォーム（エネルギー自体の使用を減らすことが大事）

Q2. 電気が家庭に送られてくるまでのロス割合は？

A. 60～70%

だから遠くの発電所から送電するより、地産地消！

7月25日、夏休み親子工作教室 ～スプーン水車を作ろう

合計23組の親子が参加！

小学低学年を中心に、3才から高学年くらいまでの子どもたちが、お父さん、お母さんたちと、水道の水を動力にして豆電球を光らせる工作を楽しみました。電気は作り出せるが大きな発電量を得るのは大変なこと、だから電気を大切に使いたいねという声、身近な素材で電気を起こせるのが楽しいとの感想などをもらい、参加者一同、電気を考える貴重な夏の日となりました。電気をつくる日本各地の大人たちの試みを紹介して下さった講師の高橋真樹さんのお話も、子どもたちに届いてくれたことと思います。



10月15日、西河原自然公園のせせらぎで小水力発電の実験

らせん式ピコピカ発電装置で発電実験に成功しました！

参加者からは、公園の景観と融和する形状、たとえば水車のような発電機で電力をつくり、蓄電して夜間の照明に利用するのがよい、との意見が多数でした。



2月13日、学習会「どうなる電力自由化

～再生可能エネルギーは自由に選べるの？

講師の竹村英明さんは市民電力連絡会会長、イージーパワー株式会社代表取締役。4月からの電力小売り完全自由化を前に、市民の関心も高く、50人近くの参加がありました。

- 環境省が平成23年、24年に行った再生可能エネルギーのポテンシャルは経済性や野鳥保護、景観、人への影響などを配慮すると8,000億KWh。省エネ効果で現在の電力需要は8,457億KWh、将来は7,500億KWhとなる見込みで、原発がなくても困らない。
- 電力自由化によって送電線の相互利用することで再生可能エネルギーの受け入れが拡大する。また発送電分離は発電コストの透明化を促進。原発のコスト高も明確になる。電力自由化は再生エネルギーを後押しする。
- 電力自由化に向け、私たちができることは
果敢に電力小売りをめざす自治体・市民から電気を買う、市民マネーで再生エネ発電所を増やす、安易な広告に惑わされない選択をすることが大事。

電力小売会社(新電力)の4分類

A	東電系	東電の代理店、もしくは電気を仕入れて販売。	ソフトバンク、au、Docomoなど携帯各社 日本瓦斯系プロパンガス各社、 ビッグカメラ、So-net、エネチェンジなどで、東電発電との契約によって、電気を調達。
B	他電力系	東電以外的一般電気事業の電気を仕入れて販売。	MOLリールエナジー [ローソン+三菱商事(ダイヤモンドパワー)+中部電力] 東京ガス[自社天然ガス・石炭+東北電力の石炭・石油・天然ガス]
C	独立系	自社の天然ガス発電、再生可能エネルギーなどの電気を販売。	ENEOSでんき(JXエネルギー) 自社天然ガス、石油・石炭、再生可能エネルギー。 楽天エナジー 丸紅の代理店として、丸紅の水力、火力などの電気。
D	市民再エネ系	自社の再生可能エネルギーの電気を販売	自治体電力、生協電力、地域で市民が立ち上げた電力会社など。基本的に、自身もしくは市民が設置した再生可能エネルギーの電気。

B,C,Dの場合も、常時バックアップやインバランス供給の場合、東京電力管内であれば東電の電気が入ることは避けられない。東電そのものを小さくすることが必要。

(竹村英明さん当日資料より)

まとめ

事業提案内容：

西河原自然公園のせせらぎに、水車型の発電機を設置し小水力発電を行う。
発電した電気は蓄電し、夜間の公園内の街路灯を点灯させる。

事業目的：

「水と緑のまち」を標榜する粕江市として、再生エネルギーの取り組みとして小水力発電を行い、再エネ学習の場をつくり啓発活動を行うことを目的とする。

事業方法：

- ・せせらぎが池に流れ込む箇所、発電機を設置する。1m くらいの落差を利用して発電し、電気は蓄電、夜間の街路灯に使用する。
- ・発電量は 10w 以下であるが、LED 街路灯なら十分な発電量。
- ・発電機は、公園の景観に合う水車型が好ましい。設備費は要調査。



事業課題：

- ・公園内なので、発電機管理の問題がある。(いたずらや盗難の可能性もなくはない)
- ・せせらぎの循環を利用しているので、防災対策とはならない。
再エネは本来、防災利用もできる利点があるがこの場所だと防災利点がない。

結論：

本事業を実施した結果、再生可能エネルギーの啓発や環境学習のために、電気は水力でつくれることを形として示す意義は大きいと考えられるため、西河原自然公園せせらぎで小水力発電を行い、市民への意識啓発に活用していくことが望ましいことを報告する。

狛江視覚障害者の会

2017年 5月 8日

狛江市長 高橋都彦 様

団体名 狛江視覚障害者の会

代表者名 伊藤聡子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成29年度）

事業名称	暗闇レストランへようこそ！					
実施時期（予定）	9月9日（予定）					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	暗闇での生活を暗闇レストランでの体験を通して、より視覚障がい者を理解してもらい、障害者に対して親近感を持ってもらう。 ① 障害者を単に可哀そうな存在としてでなく、暗闇での素晴らしい世界も紹介する。 ② 障害者の存在を、義務感や理性でとらえるのではなく、参加者の身体で実感してもらう。					

申込団体概要

団体名	狛江視覚障害者の会					
代表者名	伊藤聡子					
所在地 （事務所等）	住所	〒 -)				
	電話	e-Mail				
	FAX	HP				
連絡担当者	氏名	電		話		
	住所	〒 -)				
	e-Mail					
会員数	16 人（うち市内 15 人）	会費等	有（年額）	1,000 円		
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 （支出総額）2017年度	130,000			
主な活動実績	① 視覚障がい者間の親睦会開催 ② カラオケ大会、卓球大会の開催 ③ 障害福祉課主催の福祉講座へ講師を派遣				受付 29.5.-8 狛江市市民生活部 地域活性課	

世にも不思議な暗闇レストランへようこそ！

レストラン「ボンジュール」

光に頼って生きる私たちにとって、暗闇は妖怪やお化けなど、恐ろしい者の住む世界と思われてきました。しかし、そつと目を閉じれば、すぐそこに暗闇の世界が広がっています。

視覚情報を閉ざすことにより、素材の味を深く感じとれたり、それまで聞こえなかつた美しいかすかな音色を感じ取れたり、言葉を通してあたかも目の前に存在するかのような豊かな想像が広がるなど、新しい多くの体験をすることが出来ます。一方、そんな暗闇での暮らしは、私たちにとつて日常生活の難しさを経験することでもあります。

この経験を切っ掛けに、視覚障がい者を知ってもらい理解していただくことで、親近感が生まれ、街で見かけたとき気軽に声を掛け合えるようになればと、このイベントを企画いたしました。

暗闇体験レストラン

レストラン「ボンジュール」

あなたは、光の無い世界に住んだことがありますか？ 深海や地底、宇宙のかなた、そんな遠くではなく、そっと目を閉じてみましょう。そこには私たちが気づかなかつた、豊かな世界が広がっています。今日は、視覚障がい者の人と共に、暗闇の世界を体験してみましょう。

暗闇レストラン「ボンジュール」開店の背景

電車ホームからの転落事故

歩道歩行中の
自転車との接触事故

点字ブロック上
への障害物放置

ベビーカー使用者の点字
ブロックへのクレーム

街で見かけた視覚障がい者に、
「なんと声を掛けたらいいの」

視覚障がい者の生活の一端を体験

暗闇レストラン
「ボンジュール」
でのお食事会

義務や押しつけでなく

視覚障がい
者の理解と
注意不足

- ①視覚障がい者に
親近感を持って
いたただく
- ②視覚障がい者の
生活を体験し理解
してもらう

健全者と障がい者が助け合い支え合って
共に生きる社会を目指しましょう！
障がい者にとって住みやすい社会は
全ての人の人にとって住みやすい社会です！

暗闇レストラン「ボンジュール」開店計画

開店実施(案)

開店日時: 9月9日(土)か10月の日曜日11時30分から13時30分
集客対象: 小学生高学年以上の方(小学生は保護者同伴) ※小学生中学年以下、別途開催検討
会場: エコルマホール(多目的ホール)+中央公民館調理実習室
参加費: 2,000円/人

暗闇レストラン実行委員会(案)による運営

参加関連団体により「暗闇レストラン実行委員会」を設置し、最高意思決定機関とする。

主催: 狛江視覚障害者の会
後援: 狛江商工会議所 狛江市福祉部高齢障がい者支援係 狛江市社会福祉協議会(こまえくぼ1234)
協力: 夏梅美智子(家庭料理研究家) MECP (Music Explorer Concert Project) シーハイル・スキークラブ
早川 浩 集文社代表 狛江子ども食堂 子ども食堂多摩里 ボランティア体験会参加者
事務局: PCN (Piccolo Cosmos Network)

暗闇レストランの概要

- (1) 来店者にはアイマスクを装着していただき、暗闇を演出します。
- (2) 暗闇の中で食事をしながら、コーラスとお話とクラシック音楽を楽しんでいただきます。
- (3) 座席定数は48席(8人用×6テーブル) 1テーブルに1人の視覚障がい者を配置します。
- (4) 来店者にとって長時間の暗闇活動が大きな負担にならぬよう、30分を目途に間合いを取ります。
- (5) 稀にですが暗闇での活動により乗り物酔いと似た症状を感じる方がおられます。参加者にはリスクと対応について事前に開示説明いたします。
- (6) 食物アレルギーについては、可能な限り受け入れていきたいと思っておりますので、参加者自らに食料を持参してもらったことも検討したいと思います。
- (7) 行政による補助金を申請します。初年度は市民公益活動事業補助金(市民生活部地域活性課) 次年度より協働事業提案制度(企画財政部政策室)
- (8) 来店者に、暗闇で起きる新たな発見をしてもらうためにも、クオリティーを持ったサービスを提供します。

こまえくぼ主催
「ボランティア体験会」
小学生高学年以上の
子ども対象

暗闇レストラン「ボンジュール」の内容

暗闇レストランのサービスマニユールとタイムスケジュール

アイマスク オフタイム

11:30

12:00 12:15

12:55 13:00

13:30

受付
開始

フレンチのコース料理を提供

- ◆料理研究家岩間さんによるコースメニューのプロデュース
- ◆暗闇の中での食事の難しさ・出汁や、素材の味を感じてください

オリエンテーション

シーハイル合唱団

視覚障がい者コーラスグループによる美しいハーモニーをお楽しみください

お話しの世界

昔話や地域の話で想像を膨らませてください

クラシックミニコンサート

音楽コンクール出場やライブ演奏会多数。最高レベルの生演奏をお楽しみください。目隠し演奏にも挑戦します。

各コーナーのタレント紹介

夏梅美智子

フレンチのコース料理

家庭料理研究家
夏梅美智子さん

プロデュースによる、本格コース料理を提供します

夏梅さんは、東京都出身雑誌、広告、テレビなどに多数出演。基本料理のバイブル本も多数執筆。「夏梅美智子の楽うま献立」料理教室開催。

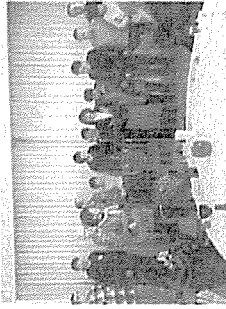
調理担当

狛江子ども食堂・子ども食堂多摩里

美しく澄んだ

ハーモニーを楽しむ

シーハイルスキークラブ



葛飾盲学校の卒業生を中心に、スキー同好会として発足しました。発足から30年がたち、その間落語家圓生師匠や歌手の000さん、こまえ山遊会(伊藤)などの支援を受け、落語会やコーラス、山歩きなどにも活動を広げています。

お話の世界で

豊かな創造を楽しむ



早川 浩さん
集文社代表

早川氏が目指す子ども達やお母さん達が元気な世の中とは、明治時代の「富国強兵」政策から現代まで続く日本の教育制度にとらわれることのない、日本人が本来持っている潜在能力が発揮できる世の中です。絵本がそれに気付きかけられたいとの思いがこめられています。

ピアノ弦楽四重奏

ミニコンサート

"Music Explorer
Concert Project"

MECPは、2013年初春、当時桐朋女子高校音楽科3年生の名で立ち上げた音楽団体です。

これまで主に、東日本大震災の被災地支援をはじめ、学校教育支援活動、地域で音楽に触れるきっかけを作る演奏活動やワークショップ、調布市せんがわ劇場を中心に行っている室内楽・新作演奏会、その収益で実際に被災地へ赴き、音楽交流を行っています。



暗闇レストラン開催告知キャンペーンを展開します

このイベントを開店当日にご来店いただく42名のお客様のために終わらせられるのではなく、開催告知を通して、障害者を知り理解することの必要性を訴える機会にしていきたいと思えます。基本的な

スタンスは、「障がい者にとって住みやすい社会は、全ての人の人にとっても住みやすい社会です」

広報誌の活用

- ① 狛江市公報
- ② わっこ に掲載する。

パンフレットの作成

- ① 地域センターをはじめ公共施設に於いていただく
- ② 商工会議所や青年会議所で会員に配布いただく。
チラシ裏面に、趣旨に賛同いただいた企業や商店様の広告を無料で掲載する。
青年会議所や商工会議所の協力が得やすくなる。
- ③ 町内会や老人会の回覧板、掲示板に載せていただく。
- ⑤ 狛江駅に許可を取って、駅頭でのビラ配りを実施する。
- ⑥ こまえくぼ主催「ボランティア体験会」の募集の中で小中学校で、チラシを配布していただく。

駅頭パフォーマンス

狛江駅北口のステージをお借りして、ミニ暗闇体験会を実施する。

(例) アイマスク体験

- ① 混じり合った大豆と小豆を2つのお皿に取り分ける。
- ② お箸を使って、1分間に大豆を幾つ別のおららに移せるか
- ③ ペットボトルから紙コップに水を注いでみましよう。
- ④ コインを正しく数えられますか

その他の検討事項

資金調達

1. 参加費 大人1500円 高校生未満1000円

2. 補助金の申請

(1) 狛江市市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金(初年度) 市民生活部 地域活性化課
申請締め切り 5月8日 17時
公開プレゼンテーション 5月28日 14時
最高補助額 20万円

(2) 狛江市市民協老事業提案制度(平成30年度) 企画財政部 政策室
申請締め切り 6月9日
プレゼン・審査 7月中旬

3. 寄付金の募集

子ども向け視覚障がい者体験会の開催

【任意様式】

平成 29 年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

団体名	狛江視覚障害者の会
事業名	暗闇レストランへようこそ！

＜収入の部＞

項 目	金 額	内 容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
参加費	55,000 円	大人¥1,500×26名 高校生未満¥1,000×16名
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	255,000 円	

＜支出の部＞

項 目	金 額	内 容
会場費	40,600 円	9月8日 18時から22時 ¥9,300 9 日 9時～12時 ¥4,100 13時から17時 ¥ 7,200 付帯設備使用料 ¥20,000
出演者謝礼	60,000 円	2個人×¥10,000 2団体×¥20,000
ケータリング発注費	72,000 円	¥1,500×48人
事業保険料	30,000 円	
印刷代（20,000枚）	40,000 円	デザイン：¥10,000 印刷：¥30,000
消耗品費	7,000 円	事務用文具 会場装飾
運賃通信費	5,400 円	点字ブロック借り受け （往復運賃負担）一般社団法人 安全交通試 験研究センターより貸与
	円	
	円	
	円	
合 計	255,000 円	

平成29年度 狛江視覚障害者の会 予算

(単位:円)

総収入		総支出	
前年度繰越金	8,671	上部団体会費	26,000
年会費	31,000	「声の東京」購読料	3,000
身障協活動費助成	50,000	研修会・大会参加費	26,000
都盲協助成金	2,000	会員活動費	22,000
寄付	10,000	事務用品費	10,000
		通信費	5,000
収入合計	101,671	支出合計	92,000
	次年度繰越金		9,671

狛江市邦楽連盟

狛江市長 高橋 都彦 様

団体名 狛江市邦楽連盟

代表者名 嶋田 昭悦

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成29年度）

事業名称	少年少女民謡、民舞チャレンジ講習会、発表会					
実施時期（予定）	平成29年6月～30年3月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	狛江市内の小学生にプロの民謡歌手を講師に招き、歌唱指導を行い、市内の数か所施設で発表する。本年は民舞も市内小学校より公募し、指導、発表したいと思います。日頃あまり触れることの少ない、日本古来の民謡、民舞に親んでもらい、次世代に邦楽の楽しみを伝えたいことが出来れば良いと期待しています。					

申込団体概要

団体名	狛江市邦楽連盟					
代表者名	嶋田 昭悦					
所在地 （事務所等）	住所	〒 -)				
	電話			e-Mail		
	FAX			HP		
連絡担当者	氏名				電話	
	住所	〒 -)				
	e-Mail					
会員数	150人（うち市内105人）	会費等	無・㊟（㊟額・月額）			5,000（1団体） 円
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 （支出総額）H. 28年度	878,418 円		
主な活動実績	少年少女民謡チャレンジ講習会 H. 28年6月19日～9月25日（5回実施） 市民公益活動事業 第41回邦楽の集い 少年少女民謡発表会 9月25日 狛江市民祭り（流し踊り、ステージ出演）に参画 11月13日 イベント西河原（多目的ホール）に参画 H. 29年3月5日					



事業計画書

1. 事業名称 少年少女民謡、民舞チャレンジ講習会、発表会
2. 事業内容 一昨年より継続しているプロ歌手による少年少女民謡歌唱（8名）指導を継続、本年は民舞を狛江市内の小学生から募集（10名前後）、指導したいと思います。
3. 事業場所 稽古は中央、西河原両公民館、エコルマホール空き室等
発表会はエコルマホール、市民祭りステージ、西河原公民館ホール
6回～8回の歌唱、実技指導をし、10月の第42回邦楽の集い、11月の市民祭り、来年3月のイベント西河原に出演させたいと計画しています。
4. 告知方法 狛江市学校教育課を通じて市内小学校にチラシを配布し公募する。
「わっこ」に掲載を依頼する。
5. PR 今年にはチャレンジ補助金申請が2年目となります。昨年も講習会、発表会ともに大成功に終わることができました。
今年には民舞を指導して、子供たちによる民謡歌唱で、子供たちに踊ってもらいたいと思っております。洋楽ではあじわえない、日本古来の民謡、民舞に少しでも親しんでもらいたいと思っております。

少年少女民謡、民舞チャレンジ講習会、発表会

収支予算書

収 入

(単位：円)

項 目	金 額	適 用
狛江市公益活動補助金	200,000	チャレンジ補助金
邦楽連盟会費	24,000	1,500×16団体
合 計	224,000	

支 出

(単位：円)

項 目	金 額	適 用
会場借料	73,000	エコルマホール 68.000 前年同 公民館 500×7回 3.500 会議室料 300×5回 1.500
印刷費	83,000	チラシ 3×1.000 枚 3.000 発表会プログラム、ポスター代 80.000 前年同
外部講師謝礼金	35,000	5.000×7回 35.000
消耗品費	10,000	コピー代、インク、文具等
通信費	5,000	葉書、切手
図書資料費	18,000	講習会教本代 18名×1.000
合 計	224,000	

平成29年度収入支出予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1. 収入の部

(金額単位:円)

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	112,710	
会費収入	80,000	5,000円×16団体=80,000円
補助金収入	200,000	市民公益活動事業(チャレンジ補助金)
邦楽の集い出演料	450,000	出演料30,000円×15団体=450,000円
広告料	60,000	前年実績
雑収入	10,000	ご厚志百選会等
イベント西河原出演料	36,000	前年同
収入合計	948,710	

2. 支出の部

項 目	金 額	摘 要
エコルマホール使用料	186,000	前年同(うち,※会場使用料68,000 予約金118,000)
ホール付帯経費	170,000	前年同(舞台照明(共立)97,200 舞台ザリア70,000)
舞台生花代	80,000	
謝金	95,000	司会20,000 ゲスト2名40,000 ※講習会指導料5,000×7日=35,000
協賛・負担金	20,000	文化協議会、市民まつり
渉外費	30,000	祝儀百選会等10,000、市民祭り諸費10,000 舞台関係者打合せ10,000
印刷費	90,000	※前年同80,000 チラシ10,000
図書資料費	20,000	※講習会民謡舞踊「教本1,000×20名
会場借料費	15,000	※前年同15,000 (連盟会議等)
通信費	20,000	※前年同(ハガキ、郵券等)
消耗品費	10,000	※前年同(資料コピー、インク代、用紙代等)
会議費	40,000	前年同(祝儀返し、お手伝い弁当等)
イベント西河原運営費	35,000	※前年同(プログラム,司会他)
次期繰越金	137,710	
支出合計	948,710	

(注)総会費、納涼大会、鉢洗い事業外会計は、29事業年度収支報告書で報告します。